

保呂羽山宿泊体験学習が終わりました

初日は雨天のために館内でのテント泊になるなど、活動内容に変更点がありました。2日間の保呂羽山宿泊体験学習の全日程を終え、5日午後3時半ごろに4・5年生が戻ってきました。その表情からは、2日間の体験学習を「やりきった」という充実感が伝わってきました。

体験を通して感じたこと、みんなと一緒にできたことなど、リーダーとして参画した5年生、初めての参加に心おどらせた4年生には、それぞれ大きな収穫があったことだと思います。それらを今後の学校生活づくりに生かしていくとともに、「どんな力や態度が必要か？」という「問い」を大切に、5年生は修学旅行に、4年生はリーダーとして参画する保呂羽山宿泊体験学習につなげてほしいと思います。



野外炊飯



ちょうちん作り



ナイトハイク



館内でのテント泊



保呂羽で学んだこと

ぼくが、保呂羽山宿泊体験学習で学んだことは3つあります。

1つめは、夜の自然の音です。ふだんは、夜には家に入ってしまうので夜の自然の音は聞くことはできないけれど、保呂羽のナイトハイクでは、夜の自然の音を聞くことができたので、とてもよかったです。2つ目は、料理です。ぼくは、お手伝いで料理をしますが、かまどなどで料理をしたことがなかったので、いい経験をしました。3つ目は、ねぶくろの不便さを学びました。いつもはベッドでねるけど、保呂羽だとねぶくろなので、夜ねるときにとっても暑苦しかったです。

来年も保呂羽に行くので、いろんなことを学びたいです。(T.)

わたしは、野外炊飯、カヌーで学んだことがありました。野外炊飯では、ふだんの生活で使っているガスだと野菜を太く切ってもいいけど、まきの火でやるから細く切るといことがはじめて分かったので、外でカレーを作るときは活用したいです。カヌーでは、こぐもの(パドル)を右にこいで、内側にかっくんしてから左側にこぐことと、カヌーの中では「がにまた」にすることを学びました。カヌーは一度もやったことがなかったので、はじめて分かりました。野外炊飯やナイトハイクなどで、もう一つ学んだことがあります。それは、みんなと協力し合って、声をかけ合いながらやるということを保呂羽に行って学びました。

来年は今年よりももっと学ぶことがたくさんあればいいなあと思いました。(T.)



